

九州・沖縄支部 認定医教育研修会 報告

九州・沖縄支部

学会名：平成 23 年度 日本顎咬合学会九州・沖縄支部 認定医教育研修会

開催日：平成 23 年 10 月 16 日（日）

場 所：福岡県歯科医師会館 大ホール

テーマ：「命の入り口，心の出口」



増田純一先生



河原英雄先生



会場風景

平成 23 年 10 月 16 日（日），福岡県歯科医師会館大ホールにおいて，平成 23 年度日本顎咬合学会九州・沖縄支部認定医教育研修会が，認定医だけで 191 名，その他の参加者も含めると 200 名を超える多くの参加者をえて開催されました。



挨拶中の南 清和理事長（左）と冒頭講演を行う上野道生監事（右）



協本 貢支部長による開会挨拶に始まり，南 清和理事長から次年度の 30 周年記念大会の概要を含め学会活動における抱負をお話いただきました。

その後研修会に移り，午前はず九州・沖縄支部顧問の上野道生監事により「顎口腔系は面白い」という演題で咬合と咀嚼機能が健康と深い関わりを持つことを研究データを

元に解りやすく解説されました。さらに新たにスタートする日本顎咬合学会認定歯科衛生士・歯科技工士の制度についても説明が行われました。

続いて「命の入り口、心の出口」を統一テーマに増田純一先生（佐賀県武雄市）、午後から河原英雄先生（大分県佐伯市）にご講演いただきました。九州の大先輩である演者のお二人には、地元での開催ということもありたいへん熱のこもった講演をしていただきました。

増田先生は小児、河原先生は高齢者とその守備範囲は異なるものの、お二人の臨床に共通するキーワードは「口腔機能」と「全身」。ご講演の最後に河原先生は「歯科医療の役割は顎口腔系の健康機能を維持し、何らかの原因で失われた機能を回復して人の健康を育み保つことである、それが出来るのがあなた達だ」と叱咤激励されました。この強いメッセージは印象深く、心を動かされ、歯科医師としてあるべき自己の将来像に思いを馳せた参加者は多かつたはずです。

お二人の豊富な経験の中から多くの示唆と提言をいただき「噛むこと」の大切さを改めて確認するとともに、その臨床姿勢までも学ぶ有意義な研修会となりました。

日本顎咬合学会

九州・沖縄支部

記録委員 川畑 正樹